

# Studyaid<sub>DB</sub> information vol.40

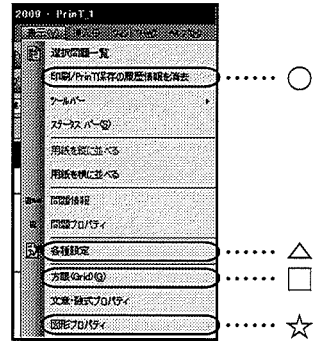
りよく  
Studyaid D.B. 力強化期間

## 委員会からのお知らせ

設定編

～～の秋，という言葉がたくさんあるように，秋はひとつのことにじっくり取り組む絶好の機会です。Studyaid D.B. 力の向上に役立つ情報を，委員会からのお知らせとして載せてみました。これらを参考に，スキルアップに挑戦してください。  
※ 2009年度版(システムバージョン14)が基準です。

### ▼ 設定場所一覧

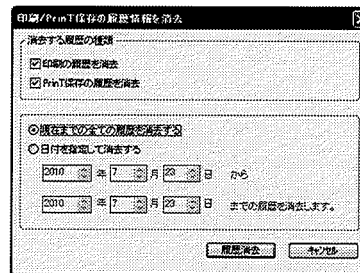


## ～ 図書委員会より ～

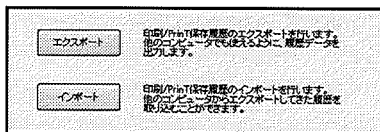


いちど借りた問題を，何度も借りていく人がいるようです。選び間違いのないように，しっかり管理しましょう。

印刷/PrinT保存履歴情報は，過去に使用したことがある問題かどうかの目印として大いに利用できますが，履歴を何年もためこむと，目印としての効果はダウンします。不要になった履歴は，削除しておくといよいでしょう。

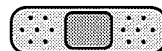


※ バージョン15では，印刷/PrinT保存履歴のインポートとエクスポートができるようになります。コンピュータを変更する前や，年度終わりに履歴を残しておくことができます。



設定場所は ○

## ～ 保健委員会より ～



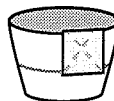
フォルダの過剰摂取に気をつけましょう。

「PrinT 検索」機能をオンにしておくと、データベース問題を検索すると同時に PrinT ファイルも探すことができます。このとき、検索処理をスムーズに進めるために、あらかじめ検索対象のフォルダを限定しておくといよいでしょう。



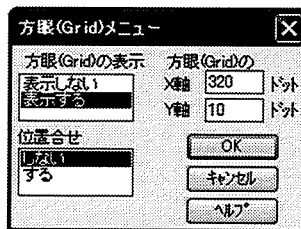
設定場所は

## ～ 美化委員会より ～

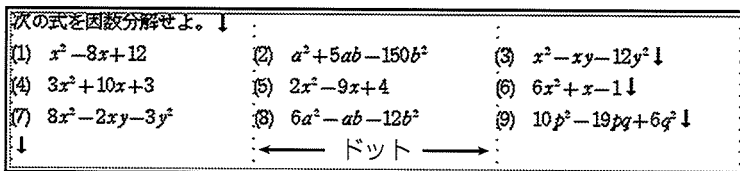


問題をたくさん並べるとき、番号がずれていることがあります。位置はきれいに揃えましょう。

1つの問題の中を2段組みや3段組みにしたいとき、方眼の設定変更で目印となる位置を表示することができます。領域の左右幅は640ドット分ですので、X軸の部分を320ドットに指定すると、左右中央の位置に点が表示されます。



下の画像は、X軸を213ドットに指定して、領域を3分割した例です。



設定場所は

## ～ 風紀委員会より ～

頂点や辺に、むやみについていかないようにしましょう。

作図の自動位置合わせはたいへん便利な設定ですが、意図と違う点や辺に吸い寄せられてしまうこともあります。線が入りくむ複雑な図形を描く場合など、ときには自動位置合わせにしないことも有効です。



※ 頂点(端点)を決定する際にダブルクリックで拡大画面を表示する機能を併用することで、自動位置合わせの設定がオフになっていても、意図した位置に点をとることが可能です。

設定場所は ☆

今回は、普段気にすることの少ない設定変更がテーマでした。

Studyaid D.B.に慣れていない方にとってはやや難しい内容だったと思いますが、使っていただければ、初級者上級者を問わず、さらに便利にお使いいただけるはずです。

どうぞ自身のスタイルに合った設定をお探しください。